

順調に事業遂行



6/5 (日)
負釣山登山

天候に恵まれた、今年度1回目の負釣山登山。負釣山(959.3m)は、1000m足らずですが、なかなか登りごたえのある山です。今年も頂上からさらに南方峰まで足を延ばし、昼食をとりました。南方峰には、彫刻家富山省三氏が彫った表札が設置されています。味わいのある彫跡をぜひ、一緒に見ませんか。次回は10月30日(日)です。連絡をお待ちします



鍋谷副所長の挨拶。登山日和のスタートです。



標高978mの南方山頂
表札は富山省三氏作

スタートはあいのかぜ入善駅

6/17 (金) 扇状地トレイル奥の細道コース

昨年度の松島氏の扇状地カフェで松尾芭蕉が332年前に黒部四十八か瀬を通ったことを知り、企画。1日で市振から滑川まで(約45km)を歩いた健脚ぶりには及ばず、この日、入膳から宮崎駅約12kmを歩きました。次回は10月16日(日)です。入膳から黒部まで(約15km)。芭蕉と同じ場所と風景を見て、歩いてみませんか？



川の上にある高札。飲んで騒ぐな等、街中らしい内容が記されている。



田の又の坂東長者の伝説が伝えられる池原家。屋敷内の竹藪から出てきた数多くの五輪の塔を丁寧に安置されている。

泊町の成り立ちと仕組みを柳下氏より説明
常光寺、松林寺、妙林寺の配置と排水溝となる用水路の確認



ゴールまであと一息。松尾芭蕉の句碑の前で記念撮影

7/8(金)

扇状地カフェ1

会場: サンウェル

講師: 鍋谷良和氏

「春日村文書から見る
明治の村の暮らし」



会場はサンウェルのグラチネ。美味しい食事でお腹を満たす。



コーヒーはセルフです。心を満たす。

明治初期の古文書から春日地区の社会情勢が見えてくる。コレラの流行！吉原で100名死亡！松田勘左衛門さん奮闘する。



熱心に耳を傾ける参加者。知的好奇心を満たす。